

切り取ってご利用ください

連続講座 美術館でブックトーク～あなたに伝えたい美術の本～(全4回)

2回目〈絵で綴る文学 木村荘八の挿絵と装丁〉

美術に関わる本の魅力を紹介する連続講座の2回目は、毎年、数多くの書籍や雑誌の造本、装丁を手がけ、装丁史の研究者としても活躍している、大貫伸樹氏によるブックトークです。

夏の企画展「生誕120年 木村荘八」展の開催に併せて、木村荘八の挿絵と装丁をテーマにお話しします。

「本の装丁・挿絵」に視点を置いて収集した書籍が1万冊にもおよぶコレクションとなるほど、大貫氏を引きつけてやまない本の魅力を、ぜひ、ご堪能ください。



大貫伸樹氏

と き：8月24日(土)午後2時～4時

場 所：美術館エントランスホール

講 師：大貫伸樹氏(装丁家、装丁挿絵史家、オブジェ作家)

※当日は、大貫氏の書籍コレクションの一部を実際に見ることができます。

参 加 料：入館料のみで参加できます。

参加方法：美術館へ電話で申し込む



ジンジャクんと美術館スタッフ

## 歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1(今市図書館隣)  
開館時間 午前9時～午後6時(入館無料) 休館日 月曜日、祝日

☎(22)6217

◎企画展紹介②「木和田島弁天沼湿原の動植物」(その2)

◎弁天沼湿原のトンボ

今回の調査では総数36種のトンボが確認されました。前回の調査(1988年～1990年、1994年)で確認された種で、今回の調査では確認できなかった種もあり、確認種総数は減少傾向にあるように見えます。しかし、今回の調査期間中に天候不順が続いたことでトンボの発生も影響を受け、可能性があり、生息種数に大きな変動はないものと考えられます。弁天沼湿原で多く見られるトンボは、モートンイトトンボ、キイトトンボ、ハラビロトンボの3種で、いずれもアゼスゲなど草丈の低い草が茂った湿原に生息しています。

特にモートンイトトンボは優占種の存在といえます。全体としてみると、弁天沼湿原のトンボの生息種数と生息数の多さには特筆すべきものがあります。

虫を食べるモートンイトトンボ

◎カラカネイトトンボの行方

前回の調査で確認され、日本の分布の南限として貴重な存在とされたカラカネイトトンボは、今回の調査で確認することができませんでした。

その原因については、自然環境の変化や過度の採集など人為的な要因が考えられます。

しかし、生息を否定することはできず、今後も調査を続ける必要があります。

◆企画展開催期間  
9月29日(日)まで

# ホッとHOTなまちをつくらう

～日光市中心市街地活性化基本計画～ その④

今回は、今市市街地で開催される、「いいとこいっぱい」のイベント(夏編)を紹介します。六斎市と今市屋台まっしりは、市の中心市街地活性化基本計画の事業でもあります。また、縁日の二十三夜祭、アーケード利用したナイトパザールには、地域の熱い思いがこめられています。



### 六斎市

開催日時：毎月第3土曜日午前10時～午後3時  
開催場所：JR駅前通り

六斎市は、地域の住民と商業者が交流を深める販売促進イベントです。

平成17年3月に、にぎわいのあまちづくり研究会が、中心市街地ににぎわいを作り出すイベントとして開始し、6月に第100回開催を迎えました。記念イベントにはお神輿が登場し、会場を盛り上げました。

春と秋の「あかちゃんハイハイ選手権」、夏の流しそうめん大会、冬のオリジナル鍋料理「六斎なべ」の無料提供など、手作りの楽しいイベントが繰り広げられています。

開催日時：10月20日(日)午後1時～7時  
開催場所：今市市街地国道119号  
毎年10月の第3日曜日に開催される

にぎやかで楽しそう!

### 二十三夜祭

開催日時：毎年8月23日午後5時～8時  
開催場所：追分地蔵尊

毎年8月23日に開かれ、「おさんやさん」とも呼ばれている二十三夜祭。追分地蔵尊境内に祭られて

集結する屋台の半数は、江戸末期から明治初期に作られたもので、歴史を感じさせます。

今市には多くの屋台があるんだよ

夜のイベントってワクワクするね!

### ナイトパザール

開催日時：8月10日(土)午後6時30分～9時  
開催場所：今市市街地大通り

毎年、夏に今市市街地のアーケードで開催されます。路上ライブや大道芸、小物作り教室など、この日だけの楽しみが凝縮されたイベントで、飲み歩きや食べ歩きもできます。

フラワーズプラザ商店街振興組合が「あかみさん会」や「今市そばの会」、「RENNZAN」などの各団体と協力してにぎわいを演出します。

この連載についてくわしくは  
まちづくり推進課 ☎(30)1176

楽しいイベントが盛りだくさん!!